

大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員会
令和4年度第1回会議 公開審議会 議事録

1 委員の出欠

出席委員（敬称略）

副委員長	吉田茂樹	委員	杉田邦隆
委員	足立恵子	委員	市來圭
委員	宮上稔	委員	新田米子
委員	秋山聖子		

欠席委員（敬称略）

委員長	菊本舞	委員	菅田文子
委員	蒲田晃二		

2 事務局出席者

市民活動部長	杉田昭子
市民活動推進課課長	小林晋
市民活動推進課主幹	國枝義典
市民活動推進課主査	後藤実穂子
市民活動推進課主任	中村英敏

3 出席団体

よっといで！@北地区

musicA

おおがきこども未来カレッジ

特定非営利活動法人まちづくり西美濃かみいしづ

和っとひろば@西地区

九里半歴史文化回廊

特定非営利活動法人大垣市レクリエーション協会

国際音楽交流会Musica Con Tutti

9時15分 開会

吉田副委員長

おはようございます。本日はご多用のところ、令和4年度「大垣市市民活動助成事業」公開審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

私は、大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員会の副委員長を務めております吉田でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、本日は、市民活動助成事業に応募された団体からプレゼンテーションをしていただきます。熱意あふれるプレゼンテーションを期待しておりますので、よろしくお願ひいたします。

委員の皆さまにおかれましては、団体のプレゼンテーションに対するご意見やご質問をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

それでは、はじめに公開審議の進め方についてご説明させていただきます。公開審議は、お手元にごございます資料に従って進めさせていただきます。団体からのプレゼンテーション時間は5分以内とさせていただきます。残り1分になりましたら、事務局からチャイムを1回鳴らしてお知らせいたします。また、5分になりましたらチャイムを2回鳴らしてお知らせいたしますので、時間内でプレゼンテーションを終了していただきますようお願いいたします。その後、事業の協働先の市の担当課からの意見を事務局より報告いただき、委員の皆さまから質疑をいただきたいと存じます。質疑応答時間は5分以内とさせていただきます。また、お手元にお配りしてございます「審議評価表」につきましては、各団体の質疑応答の後、ご記入いただきたいと存じます。随時事務局にて回収し、集計させていただきます。回収箱をお席に設置させていただいておりますので、ご記入が済みましたら、回収箱の中へお入れいただきますようお願いいたします。評価表のご記入時間は2分以内とさせていただきます。ご協力をよろしくお願ひいたします。

それでは、ただいまから「公開審議」を始めます。

はじめに「市民活動助成事業・初めの一步助成」への応募団体の方からプレゼンテーションをしていただきます。

資料No.1、よっといで！@北地区さんの「よっといで！@北地区プレーパーク」事業です。よっといで！@北地区さん、よろしくお願ひいたします。

※よっといで！@北地区：事業計画書に基づき発表

吉田副委員長

事業の協働先の子育て支援課より、意見をいただいておりますので、事務局より報告をお願ひいたします。

後藤市民活動推進課主査

本市では、子どもが健やかに育ち、安心して子育てができる「子育て日本一

のまち」の実現を目指し、第三次子育て支援計画を策定しています。

基本目標Ⅰ「子どもたちの笑顔あふれるまちづくり」では、「子どもたちが安心して過ごすことができる居場所を提供するとともに、地域資源等を活用し、さまざまな分野において子どもの体験・学びの場を提供するなど、子どもの健全育成を推進する」こととしており、当該団体が実施する「よっといで！@北地区プレーパーク事業」は、本施策の推進に資する取り組みであると思われま

す。また、地域コミュニティの希薄化が進む中、子ども食堂を同時開催することで、親子での参加を促進し、孤立しがちな子育て家庭のコミュニケーションの場にもなることが期待できます。

吉田副委員長

ありがとうございました。それでは、こちらの事業内容につきまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。

新田委員

西地区のプレーパーク事業の実績を踏まえて、北地区でも開催されたいということですが、大変よい企画だと思います。他の地域にも広がっていくことを期待します。5月、6月、7月の開催分に対しての助成申請となっていますが、参加費は徴収されないのでしょうか。チラシには、協力金の記載がありますが、

よっといで！@北地区

プレーパークとして参加費を徴収することは、考えていません。チラシに記載があるのは、同時開催する子ども食堂の協力金です。食べる方は、大人300円、子ども100円いただくのですが、プレーパークに遊びに来ただけという子は無料で遊んでもらえます。また、「どうぞのチケット」というものを作っています。お金を忘れてきた子でも、そのチケットをもらえば無料で食べてもらえます。チケット代は大人が寄付してくださるものになります。そういう子たちばかりになると私たちも困るのですが、忘れてくる子や持ってきたけど落としたという子もいるかと思いますので、そういうものも使ってもらいます。

新田委員

9月以降の事業については、子ども食堂の協力金だけで費用を賄うのでしょうか。

よっといで！@北地区

地元の子ども会さんから、子ども会のイベントと連携で開催しないかとお声かけいただいております。9月以降に必要な経費については、若干の援助を

いただく予定です。また、別の団体で支援をいただけるところもあり、そういったものと組み合わせながら1年間やっていこうと考えております。

新田委員

分かりました。頑張ってください。

杉田委員

西地区で始まったプレーパーク事業ですが、元々は東京辺りから始まったものなのですが、子育て日本一を目指している大垣市でこの輪がどんどん広がっていく必要があると私は考えます。その意味において、西地区の次に着手されたということに敬意を表したいと思います。こういった形で、色々な地区で出てくることを期待しておりますので、まずは、新しく行う地域の範となるようにぜひ頑張ってくださいと思います。

よっといで！@北地区

ありがとうございます。頑張ります。

宮上委員

北地区で子ども食堂を始められてどのくらい経ちますか。

よっといで！@北地区

昨年の12月から始めました。4年度に向けて子ども食堂を計画したいと思っており、まず一回やってみないとどこまでできるのか、規模感も分かりませんし、本当にスタートできるのか分かりません。大々的に開催して後戻りできなくなると大変ですので、とにかくスモールステップを踏んでいこうということで、12月に一回挑戦しました。それが好評だったので、続けてみよう、次年度も計画してみようということになりました。

宮上委員

希望として、母子家庭や父子家庭などといった対象をより多く呼び込んでいただけるといいと思います。

よっといで！@北地区

はい、そのつもりでいます。地域の役員をされている母子家庭の方とも連絡を取り合い、やり取りをさせていただいています。来週フードバンクに打ち合わせに行くのですが、母子福祉連合会の方や民生委員の方にもお声かけをさせていただきます。そういった方とも連携していきたいと思っています。

吉田副委員長

ありがとうございます。それでは、時間となりましたので、以上をもちましてプレゼンテーションを終了します。よっといで！@北地区さん、ありがとうございました。結果につきましては、事務局から通知をさせていただきます。それでは、「審議評価表」のご記入をお願いいたします。

※大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員：「審議評価表」記入

吉田副委員長

続きまして、「市民活動助成事業・まちづくり活動部門」へのプレゼンテーションに移りたいと存じます。

資料No.2、musicAさんの「音楽タイム2022 親子で楽しむ音楽絵本～動物の謝肉祭～」事業です。musicAさん、よろしくをお願いいたします。

※musicA：事業計画書に基づき発表

吉田副委員長

ありがとうございました。それでは、協働先の子育て支援課より、意見をいただいておりますので、事務局より報告をお願いいたします。

後藤市民活動推進課主査

本市では、子どもが健やかに育ち、安心して子育てができる「子育て日本一のまち」の実現を目指し、第三次子育て支援計画を策定しています。

基本目標Ⅰ「子どもたちの笑顔あふれるまちづくり」では、「地域資源等を活用し、さまざまな分野において子どもの体験・学びの場を提供するなど、子どもの健全育成を推進する」こととしており、当該団体を実施する『音楽タイム2022「親子で楽しむ音楽絵本」～動物の謝肉祭』事業は、本施策の推進に資する取り組みであると思われまます。

また、基本目標Ⅱ「子育ての幸せ感じるまちづくり」では、子育て中の親子等を対象とする子育て講座等を開催し、子育ての知識・経験を学ぶ機会を提供することとしており、当該団体による事業展開を通じて、親子で集い、楽しい時間を過ごす場を提供する機会が増えること、さらに、その結果として、子育て家庭の育児不安の軽減や孤立感の解消にも資するものと考えられます。

吉田副委員長

ありがとうございました。それでは、こちらの事業内容につきまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。

吉田副委員長

昨年度、事業を3回実施されましたが、今回は2回ということですが、この回数決定について、何か理由はあるのでしょうか。

musicA

はい、去年は夏、冬、年度末と3回実施しました。コロナの感染状況を踏まえまして、時期を分散し、複数回実施することはリスクがありました。去年は秋にイベントの開催率が高かったこと、また、昨年夏の講座がスムーズに実施できたことを考慮しまして、2回講座として8月と9月に実施することといたしました。

新田委員

先程、保育園等でボランティアとしてご披露されたというお話でしたが、その時はどのような内容でしたでしょうか。

musicA

音楽絵本ではなく、演奏活動です。音楽絵本の公演は初めての試みです。

新田委員

音楽絵本についての認知度は、一般の人ほどのくらいあるのでしょうか。私は、聞いたことがありませんでした。

musicA

題材としては、よく知られているものと、「くるみ割り人形」があります。楽譜と絵本を併せたもの、音楽絵本として教材のようなものが楽譜として販売されています。既製品がありますので、舞台としてはある程度認知度があるかと思えます。「動物の謝肉祭」よりも「くるみ割り人形」の方が認知度は高いのですが、今回の「動物の謝肉祭」は、場面ごとの曲はどなたも耳にしたことがある曲が使われていますので、ぜひ皆さんに聞いていただきたくこちらを選曲させていただきました。

新田委員

今日のプレゼンテーションで、音楽絵本の音声付きの動画を紹介していただくと、イメージが出てより理解しやすかったのではと思いました。

musicA

失礼いたしました。次回の参考にさせていただきます。

市來委員

去年の活動もですが、今年の活動も子どもたち、あるいはその親にとっても大変意義のあることだと思います。昨年度の事業報告のときもすごく関心したのですが、SNSでの広告宣伝の仕方がすごく上手いという印象ですし、今どきだと思います。収支予算書の支出費用に、インスタグラム広告が2万円計上されていますが、どういうものなのでしょう。詳しく教えてください。

musicA

岐阜県内でインスタグラマーとして活動していて、子育てイベントに特化した宣伝をする方がいらっしゃいます。何人かに声をかけさせていただき、こういうイベントがあるので、告知をSNSサイトでできないかとお声かけさせていただいている段階です。

市來委員

インスタグラムをやっている方に宣伝をお願いする費用ということでよろしいでしょうか。

musicA

はい、そうです。広告1回あたりの費用をお聞きし、告知期間を考え、予定金額を計上させていただきました。

市來委員

分かりました。ありがとうございます。

吉田副委員長

追加で質問させていただきたいのですが、前回の定員は毎回10組という設定だったと思いますが、この活動を広げていく、さらに展開していく場合、他の団体と一緒にやっていかれることはお考えでしょうか。

musicA

もし、当団体のコンセプトに共感をいただいて、一緒にやりましょうと言ってくださるところがあれば、今後機会があれば、ぜひ一緒にやっていきたいと思います。

吉田副委員長

これまで、実際にコンタクトを取られた団体はありますか。

musicA

別事業になります。団体ではなく企業です。初めてのことなので、どうなるか分かりませんが、抱っこひもの会社の方から子育てイベントと一緒にやらないかとお声掛けいただいたところです。

吉田副委員長

おそらく、SNSを通して広報していただければ、興味をもたれる方も多と思いますので、ぜひ事業の告知だけでなく、活動の報告や様子を併せてお知らせいただくとよいかと思ひます。

musicA

はい、分かりました。ありがとうございます。

吉田副委員長

その他のご質問はよろしいでしょうか。

それでは以上をもちましてプレゼンテーションを終了します。musicAさん、ありがとうございます。結果につきましては、事務局から通知をさせていただきます。

それでは、「審議評価表」のご記入をお願いいたします。

※大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員：「審議評価表」記入

吉田副委員長

続きまして、資料No.3、おおがきこども未来カレッジさんの「こどものまちプチおおがきプロジェクト」事業です。おおがきこども未来カレッジさん、よろしくお願ひいたします。

※おおがきこども未来カレッジ：事業計画書に基づき発表

吉田副委員長

ありがとうございます。それでは、協働先の市民活動推進課より、意見をいただいておりますので、事務局より報告をお願いいたします。

後藤市民活動推進課主査

現在の子どもを取り巻く環境に着目し、こどもの自由な発想で、こどもの「やってみたい」を大切にし、実現していく「こどものまち」の開催は、団体ならではのアイデアであり、事業への参加をきっかけに行政、経済や社会の仕組みを身近に感じることができ、また、こどもの自主性や協調性などを養いつ

つ起業教育の要素を取り入れている点から、豊かな次世代の人材の育成に寄与するものであり、課題解決性、独自性について評価できます。

ワークショップでの提案が「こどものまち」そのものの形になるため、可能性は無限であり自由度が大きい反面、柔軟なフォローが必要となってくるので、実現に向けた適切な方向付けや、スケジュール管理を行っていただきたい。

また、親向けの講演会やワークショップの参加者を募集する際、小学生や中学生、保護者が関心をもち、気軽に参加できるようPR方法を工夫し、より多くの市民に「こどものまち」の開催を周知いただきたい。

吉田副委員長

ありがとうございました。それでは、こちらの事業内容につきまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。

杉田委員

事業計画を見させていただきまして、大変難しい、けれども夢がある企画だと思いました。特に私が印象深く感じたことは、事業の目的の中に自己有用感という言葉が出てまいりました。これはこれからとても大切なことだと思います。これを育むための様々な事業をぜひやっていただきたいと思いますが、自己肯定感とは違う、自己有用感という言葉キーワードとして取り組んでいただければと思いますのでよろしくお願いします。

おおがきこども未来カレッジ

はい、ありがとうございます。

新田委員

子どもが自分で考えて行動するという観点はとても大事で、期待がもてる事業であると思いました。少し気になったことは、対象年齢について、小学生から中学生を対象にしており、参加する方の親さんはもともと意識が高い方たちで、自分の子どもが参加してもなんとかついていけることを期待しているのではと思いますが、参加者の発達年齢に対する対応というのは、他の都市での実践はどのようになさっていますでしょうか。難しい話だとあまり小さい年齢の方は、長時間の活動になると途中で飽きてしまい、帰りたい、遊びたいと言いだすこともあるかと思います。小学生の高学年や中学生の子はついていけるかなと思いますが。その辺りはどのようにお考えでしょうか。

おおがきこども未来カレッジ

「かさまつこどものまち」の事例を参考にさせていただくと、子どもたちの中でも、異年齢の子同志関係ができていって、小さい子がやりたいということ

を尊重しながら、大きい子が見守ったり、大人のスタッフもやりたいことが実現できるようサポートしていきたいと考えております。

新田委員

異年齢の子との接触というのは、かえって兄弟が少ない子にとっては特にいい機会になると思います。

また、講演会の参加費が一人当たり1,000円となっておりますが、参加費として標準的なのでしょうか。

おおがきこども未来カレッジ

基本的に、少しお安めに設定させていただきました。講演会でしたら500円というものもございますが、全国から講師の方をお呼びし講演会を開催する場合ですと大体2,000円程が相場だと思います。初めのことですので、相場の半分といたしました。

吉田副委員長

12月に行われる「プチおおがき」は、参加者200人規模を想定されているということですが、プロジェクトを進めていくメンバーは15名程度とお聞きしました。12月のイベントは、15人の子どもたちが考えた「プチおおがき」というものを実現し運営するものと思いますが、何らかの仕事場のようなものを運営することもその子どもたちがやるのでしょうか。当日参加の200人の中からも募るのか、どういう形になるのでしょうか。

おおがきこども未来カレッジ

お店を開いたり、銀行やハローワーク、市役所等の運営をやるような所については、中心的なプロジェクトメンバー15人程になります。大垣城ホールでの開催は、こどものまちへの参加を募るものですが、かさまつ子どものまちを例に見ますと、そこで、当日スタッフという枠もあり、その日にきて働きたい場合に参加できるシステムもありますので、プロジェクトメンバーの15名と、どのようにしたらよいか相談して決めていけたらと思っています。

吉田副委員長

それも含めて、子どもたちが決めていくということでしょうか。

おおがきこども未来カレッジ

はい、その予定です。

吉田副委員長

分かりました、ありがとうございます。ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

市來委員

参加してくれる子どもたちを集めることが一番の鍵であると思います。教育委員会を通して子ども一人一人にチラシを配っていただくことはお考えでしょうか。

おおがきこども未来カレッジ

はい、配布できるようお願したいと思っています。

市來委員

今のところ配布先の目途は立っていますか。事業チラシの配布先や枚数が記載してありますが、枚数が1万枚で足りるものなののでしょうか。

おおがきこども未来カレッジ

初めてのことでありますので、ある程度ピンポイントで、関係の方の中から出たいという方が出てくると一番いいとは思いますが、そうは言ってもできるだけ多くの方に事業を知っていただきたいので、口コミとチラシと両者をもって、広く知らしめていきたいと思っています。

市來委員

子どもたちにチラシを配ることは、結構有効であると他の事業を見て感じていますので、しっかり子どもたちに直接届くよう配っていただき事業を周知していただけるといいと思います。

おおがきこども未来カレッジ

はい、分かりました。ありがとうございます。

吉田副委員長

それでは以上をもちましてプレゼンテーションを終了します。おおがきこども未来カレッジさん、ありがとうございます。結果につきましては、事務局から通知をさせていただきます。

それでは、「審議評価表」のご記入をお願いいたします。

※大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員：「審議評価表」記入

吉田副委員長

続きまして、資料No.4、特定非営利活動法人まちづくり西美濃かみいしづさんの「ちいき季刊誌かみぴあ」発行事業です。

この事業につきましては、杉田委員が申請団体の関係者になりますので、審議から外れていただきます。

※杉田委員：退席

それでは、特定非営利活動法人まちづくり西美濃かみいしづさん、よろしくお願いたします。

※特定非営利活動法人まちづくり西美濃かみいしづ：事業計画書に基づき発表

吉田副委員長

ありがとうございます。それでは、協働先の上石津地域事務所地域政策課より、意見をいただいておりますので、事務局より報告をお願いいたします。

後藤市民活動推進課主査

申請団体であるNPO法人まちづくり西美濃かみいしづは、構成メンバーに大垣市地域おこし協力隊員（令和4年6月退任予定）が参画しており、これまで3年間にわたり上石津地域内で培った人脈やコネクションを駆使することにより、地域の魅力やそこで生き活きと生活する人々の情報を発信することができ、他者と異なる充実した内容の季刊誌を発行することが可能である。

その季刊誌を各所に配備し、多くの方に購読いただくことにより、関係人口及び交流人口の増加、ひいては新たな移住者の獲得につなげることができれば、人口減少が著しい上石津地域においては大変有意義な取り組みとなります。

なお、季刊誌の発行に当たっては、単年で終わることなく、次年度以降も継続的な発行が可能となるように企業等への営業活動による広告収入の獲得、掲載記事の充実による定期購読者の獲得ならびに購読料収入の獲得についてもあらかじめ目標額等を設定した上で、計画的に事業を進めていただきたい。

吉田副委員長

ありがとうございます。それでは、こちらの事業内容につきまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。

吉田副委員長

SNSとの連携は非常にいいことだと思いますけれども、生データの公開を想

定されてみえますが、上石津に訪れた方や、興味を持った方が上石津のどのうところに興味を持っているかを知っていただくことが重要だと思いますので、他のSNSツールも含めて、来られた方のご意見をいただくとか、住民の方のご意見をいただくような仕組みがあればいいと思いますが、その辺りについて何かお考えのことはありますでしょうか。

特定非営利活動法人まちづくり西美濃かみいしづ

申請書の段階では特に想定していませんが、例えば紙面で取り上げた人物のところに足を運んでいただくとか、その方やグループが主催するイベントや、日常的な活動に参加していただくということで双方向のコミュニケーションを生んでほしいという意図はあったのですが、実際に季刊誌の中で双方向のコミュニケーションを生むというところは、少し考えたいと思います。特に、SNSを活用することになると思いますし、もらった意見を次回への紙面に載せるなども考えたいと思います。

市来委員

こういう地域に関する情報誌が生まれることについて、しかもその特徴として、その地域の伝統的な暮らし方や昔のことを取り上げながら、今どうやって生きているのかというところに焦点をあてることは大変いいことだと思います。ぜひ、担当課の上石津地域政策課の方からコメントがついているように、購読料の収入や企業からの広告収入を確保できるような取り組みを考えていただければと思います。そう思いながらも、収支予算書を見ると、広告料が1万円とすごく控えめに書いてありますけど、もう少し野心的な目標を掲げてもらって、ただ、今年に限っては初めてなのでディスカウントしてこれくらいにしますというような売り込み方にしていたり、上石津出身で今は上石津の中で事業をやっていないけれども、他地域で事業をやっている所だとか、そういう伝手をたどっていくのも一つだと思います。最近注目されている関係人口など、そこに住んではいないけれども、そこにゆかりがある人たちはもっと広くいらっしゃるはずなので、そういうところにまで広げていただくと自立した季刊誌ができるのではと期待しています。

特定非営利活動法人まちづくり西美濃かみいしづ

ありがとうございます。たしかに、広告収入は、とって付けたような数字になってしまっているのは自覚しています。こういうものを作りこういう所に配布しているという実績をもってお願いする分にはよいかと思うのですが、まだ実績がありませんので、今後の目標としては、事業費のうちNPO法人の拠出分プラス1万円の半分くらいは、広告料を充てられるといいと思っています。一つ目を作る時のお願いの仕方としては、実績がないですけれども、こういう

風に考えて作成しますのでこちらから頭を下げてくださいるところからが始まりだと思っておりますので、1万円というのは、季刊誌の回を追うごとに、金額を増やしていきたいと思っております。会社員のとき、かけこみ営業をしていたので、そこは、自分の得意で経験を積んでいるところでもあるので、広告料は増やしていきたいと思っております。

新田委員

名古屋から移住されたと伺いました。大変勇気がある行動だと思えました。やはり上石津の自然とか文化に魅かれて移住されたのでしょうか。それ以外に魅力を感じられたのでしょうか。

特定非営利活動法人まちづくり西美濃かみいしづ

正直なところを申し上げますと、会社員を愛知県で勤めていた時代から、中山間地域で自分は起業したり、ビジネスにつながらなくても活動したいと思っていたところで、上石津と恵那市の移住体験ツアーに参加しました。この情報を伝えてくれたのは、配布先の一つである名古屋市の岐阜県移住交流センターの相談員さんでした。そのツアーを通して、上石津の方々と直接お会いをして、自分の居場所にしたいと考えました。実際に地域おこし協力隊に空きが出たというお話をいただき、それであれば、上石津の詳細は知らないところで決心したのですが、任期3年間をやりきることで人とのつながりを作って、私自身海外で生活していたこともありまして、地域を歩いたり、人とのつながりをつくることで、旅行者としては見えてこないことは絶対あると分かっていたので、そういったところで3年間積み上げをしてきたというところではあります。

新田委員

ありがとうございます。上石津の人口減の危機は日本の中山間地域の同様の危機だと思います。その危機をどのように脱するかは、非常に難しい問題だと思いますので、長く続けていっていただきたいと思っておりますが、上石津に魅力を感じて、そこに行って生活しようという若いお仲間を一人でも多く増やすことがまず第一歩ではないかと思っております。そこで魅力的な人が生き生きと農業や仕事をしていけば、自然と外部に発信する中身ができてくると思っておりますので、まずはそういうお仲間づくりに力を入れていただけたらと思っております。上石津には、移住された方や地域づくりに関心をもっておられる方というのは、大勢いらっしゃるのでしょうか。

特定非営利活動法人まちづくり西美濃かみいしづ

協力隊の活動を通して県内全域のまちづくりをみると、上石津の若者でアクティブな方はちょっと少ないかなと思っております。自分自身も自分の関係

性にとって、核になるだろうという人とのつながりはすでにできております。他の地域に比べて、30代、40代、50代という現役世代の方で主だった活動をしている方は少ない、あるいは控えめであるという風に感じておりますので、そこは、季刊誌としても後押しをしていきたいと考えています。添付資料の見本冊子にもあるように、そういった方をその人の顔が見える形でピックアップすることで、その人自身の気持ちを盛り上げてほしいですし、外から見てもらうということで人間関係づくり、実際の活動の基盤づくりにつなげていただければと考えています。

新田委員

上石津の若者に刺激を与えて、活気のあるまちづくりをしていただきたいと思います。ありがとうございます。

宮上委員

ご存知だと思いますが、上石津地域内にはゴルフ場が4か所くらいありますので、集客がある程度あるかと思っておりますので、ひょっとしたらそういったところから広告収入がいただけるかもしれません。

吉田副委員長

ありがとうございました。それでは、時間になりましたので、プレゼンテーションを終了します。特定非営利活動法人まちづくり西美濃かみいしづさん、ありがとうございました。結果につきましては、事務局から通知をさせていただきます。

それでは、「審議評価表」のご記入をお願いいたします。

※大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員：「審議評価表」記入

吉田副委員長

続きまして、資料No.5、和っとひろば@西地区さんの「和っとプレーパークで遊びの達人と遊ぼう！」事業です。和っとひろば@西地区さん、よろしくお願いいたします。

※和っとひろば@西地区：事業計画書に基づき発表

吉田副委員長

ありがとうございました。それでは、協働先の子育て支援課より、意見をいただいておりますので、事務局より報告をお願いいたします。

後藤市民活動推進課主査

本市では、子どもが健やかに育ち、安心して子育てができる「子育て日本一のまち」の実現を目指し、第三次子育て支援計画を策定しています。

基本目標Ⅰ「子どもたちの笑顔あふれるまちづくり」では、「子どもたちが安心して過ごすことができる居場所を提供するとともに、地域資源等を活用し、さまざまな分野において子どもの体験・学びの場を提供するなど、子どもの健全育成を推進する」こととしており、当該団体が実施する「和っとプレーパークで遊びの達人と遊ぼう！」事業は、本施策の推進に資する取り組みであると思われま

す。また、地域コミュニティの希薄化が進む中、子ども食堂を同時開催することで、親子での参加を促進し、孤立しがちな子育て家庭のコミュニケーションの場にもなることが期待できます。

吉田副委員長

ありがとうございました。それでは、こちらの事業内容につきまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。

杉田委員

大垣市におけるプレーパーク活動の先駆けが西地区で、北地区が後に続く形で広がってきており、これが市内にどんどん広がっていくことを期待いたします。次のステップとして、集まってくる子どもの変化を周囲の大人が気付くことができる場になるとよいのではないかと思います。それは簡単ではないかもしれませんが、よろしく申し上げます。

新田委員

大変意義ある事業で、今後の展開でプレーワーカーを育成していくご計画があるようで、期待いたします。参考資料にあるように昨年度は報告書を作成されていますが、今回の収支予算書の中には、報告書の作成経費について予算計上されていますでしょうか。

和っとひろば@西地区

私たちはこの事業以外にもたくさんの活動をしており、いろいろ吟味しながら進めておりまして、活動の成果をどのような形で報告していくのか現在検討をしている状況です。

新田委員

太平洋工業さんからの寄付が上がっておりご協力いただくようですが、今後、地域の企業や団体からご寄付を得られることは大変素晴らしいと思います。

和っとひろば@西地区

このような報告書を作っているのも、実際の活動内容をご理解いただけますし、Facebookでの報告も毎回記事にしてあげているので、皆さんに見ていただいております、やはり声をかけていただけますので、違う企業さんからも実際声をかけてくださっていますので、私たちの活動が広がっているなという実感があります。

新田委員

今後ともご活躍をご期待申し上げます。

和っとひろば@西地区

ありがとうございます。

吉田副委員長

プレーワーカーの育成は、今回の事業とは別で行われると思いますが、実際にそれぞれのプレーパークでプレーワーカーさんが来て活動されている様子を見ることで事業参画するという形をとるとよいと思いますが、その辺りはどうお考えでしょうか。

和っとひろば@西地区

現在私たちの活動を見に来てくださる方は、自分でもやってみたいと思われる方で、実際に居場所づくりの活動をされている方です。プレーワーカーさんの遊びの仕方を見ながら一緒に活動していただいておりますが、もっと根本的な遊びを提供するという専門的な部分もありますので、それを養成講座で行いたいと考えています。

吉田副委員長

ありがとうございます。ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは以上をもちましてプレゼンテーションを終了させていただきます。和っとひろば@西地区さん、ありがとうございます。結果につきましては、事務局から通知をさせていただきます。

それでは、「審議評価表」のご記入をお願いいたします。

※大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員：「審議評価表」記入

吉田副委員長

ここで5分間の休憩を取らせていただきます。審議評価表をご記入いただいた方から休憩に入らせていただきたく存じます。ご用がお済みになりましたら、

お席にお戻りいただきますようお願いいたします。委員の皆さまが揃い次第、再開させていただきます。

※休憩

吉田副委員長

それでは、皆さまお揃いになりましたので、公開審議会を再開させていただきます。

続きまして、「市民活動助成事業・SDGs推進事業部門」へのプレゼンテーションに移りたいと存じます。

資料No.6、九里半歴史文化回廊さんの「平井発電所展示会「100年前牧田に電気が灯る」」事業です。九里半歴史文化回廊さん、よろしくようお願いいたします。

※九里半歴史文化回廊：事業計画書に基づき発表

吉田副委員長

ありがとうございました。それでは、協働先の上石津地域事務所地域政策課より、意見をいただいておりますので、事務局より報告をお願いいたします。

後藤市民活動推進課主査

牧田村営電気事業として、牧田地域の近代化の一翼を担った平井発電所の偉業について地域を挙げて振り返ることは、郷土の歴史を学ぶ意味で大変意義深いことです。

また、発電所の完成100年をきっかけとして、全世界で取り込まれる「持続可能な開発目標（SDGs）」について理解を深めることは、グローバルな視点で活躍できる子ども達の育成にとっても重要な取り組みとなります。

昨年度は、発電所跡見学ウォーキング&祝賀行事及び特別講演会を開催したが、資料展示会など予定する事業のうち都合により開催できない事業もあった。こうした未開催事業を出前講座や出前授業としてバージョンアップし開催するとは、当初予定していた事業目標の達成度をより高めることになる。

新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しつつ、地区内の小学生児童をはじめ地域内外を問わずより多くの方に事業に参加いただけるよう検討を加えていただき、地域の活性化及び将来を担う人材育成の場として事業を実施していただきたい。

吉田副委員長

ありがとうございました。それでは、こちらの事業内容につきまして、質問等がございましたらお願いいたします。

吉田副委員長

今回、発電所跡の関係資料の展示を中心にされるということで、中部電力さんの協力もあり、電気についての様々な情報や知識が中心になると思いますが、水路が作られたということは、土木工事に関することや、発電機などといった機械に関することといった色々な視点の興味がある方がいらっしゃるかと思います。電気や水路についてのほか、それに関連してご検討されている内容はありますでしょうか。

九里半歴史文化回廊

非常にいいご指摘をいただきましてありがとうございます。資料収集する中で、我々の第1段階の資料としては、最初はパンフレットにもあります発電所の水路工事図面だけだったのですが、中部電力の前身の中部配電の社史にもたどり着くことができましたので、そういった資料ですとか、土木工事に関しては、大垣市の副市長に新たになられた方が前職で発電所に勤務されていたと新聞で拝見しましたので、資料をお借りできないかと思っておりますがお忙しくてまだお会いできておりません。そういった土木関連の資料を拝受したいと思っております。また、打合せを重ねる中で、中部電力の方には強いご支援がいただけるようになっていきますので、希望を出すと全て了解していただけます。日々、ブラッシュアップしており、お話しした内容以上のものができるのではないかと期待しているところでございます。

杉田委員

収支予算書の支出の謝金について、8月25日の出前講座の謝金の計上はありますが、2回目の9月の講座の謝金は入っていませんが、これはどのようでしょうか。

九里半歴史文化回廊

先程申しましたように、中部電力の方とは、昨年12月に初めてお会いし、それから3回ほどお会いしている中で、中部電力に関わる費用は全て負担いただけるとのことでありますので、予算に上がってきておりません。電気の科学館からの職員の派遣ですが、3名おみえになる予定です。制作キッドのみ中部電力のものではありませんので、これだけは費用はかかります。講座に関わる日当関係などすべて中部電力負担になります。先程ご質問がありました、予算に上がっている講師謝金5,000円×2人分についても、おそらく無料になると思っております。もうひとつ、委託料で20万円上げている部分ですが、2つの模型製作に関わる委託料が上がっておりますが、上石津郷土資料館で、10月から来年の3月まで資料展示会を企画しています。こちらの事業終了後9月以降も展示で活用することになっていきますことをご参考にお話しいたします。

宮上委員

これは産業遺産であると思いますが、めずらしいものなののでしょうか。あちこちにあるものなのか、貴重なものなのか、評価はどうなののでしょうか。

九里半歴史文化回廊

大正17年当時は、岐阜県下で27、28か所ほど水力発電所ができております。全国的にみると岐阜県が80%程を占めており、岐阜県は少し特異です。近くでは垂井町の府中にありますし、大垣市ですと上石津町時というところに平井発電所よりもっと大きな200キロワット程のものがありません。あとは東濃の方にもあります。産業遺産ですが、教育委員会にも話しましたがまだ100年なので、それほど重要視されませんでした。

吉田副委員長

ありがとうございました。それでは以上をもちましてプレゼンテーションを終了させていただきます。九里半歴史文化回廊さん、ありがとうございました。結果につきましては、事務局から通知をさせていただきます。

それでは、「審議評価表」のご記入をお願いいたします。

※大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員：「審議評価表」記入

吉田副委員長

続きまして、資料No.7、特定非営利活動法人大垣市レクリエーション協会さんの『クラブ「いちぢやれ」～青年の家まるごと「レク王国」』事業です。特定非営利活動法人大垣市レクリエーション協会さん、よろしく願いいたします。

※特定非営利活動法人大垣市レクリエーション協会：事業計画書に基づき発表

吉田副委員長

ありがとうございました。それでは、協働先の社会教育スポーツ課より、意見をいただいておりますので、事務局より報告をお願いいたします。

後藤市民活動推進課主査

大垣市教育振興基本計画のスポーツ推進分野では、「スポーツができる環境を整備し、生涯いきいきとスポーツをする健康な人づくりをめざします」を基本目標として、地域コミュニティスポーツ活動に参加できる支援や、スポーツの楽しさを知る機会の提供、誰もがスポーツに参加できる機会づくりに取り組

むこととしています。

本事業は、あらゆる世代の皆さんが、軽スポーツやレクリエーション、表現活動に触れる場を提供し、生涯スポーツ活動の必要性を理解し、すべての人々の持続可能な健康的な生活の促進を図ることが出来ると期待しています。

吉田副委員長

ありがとうございました。それでは、こちらの事業内容につきまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。

杉田委員

大垣市レクリエーション協会の50周年記念事業として、そのコンセプトを、身体障がい者の方、ハンディキャップのある方を対象とした企画にされたことを評価したいと思います。大変ですが頑張ってください。最後に集大成として行われる「レク王国」の開催も大々的に行われるかと思いますが、頑張ってください。ひとつご質問ですが、会場の青年の家は、バリアフリーが完全にできている施設でしょうか。

特定非営利活動法人大垣市レクリエーション協会

ありがとうございます。青年の家は、1階についてはフラットな構造になっております。全く階段のないフラットな状態で入ることができます。お手洗いについても、多目的トイレが設置されており、少し離れたところの研修棟というところにも設置されていますので、使いやすいと思います。

吉田副委員長

今回、指導者やスタッフ向けの研修会も実施されますし、関係協力団体からのご意見も受けてこのような需要があると考えられた事業だと思いましたが、すでに研修会への参加者の見込みはあるということですのでよろしいでしょうか。

特定非営利活動法人大垣市レクリエーション協会

はい、すでに研修会の参加者を募集しており、計画としては連休前には研修会を行いたかったので本日からスタートします。事業の予算外でできるように市の出前講座を利用して行うのですが、すでに30人の応募がございまして、私もびっくりしています。皆さんから注目されていることが数字に表れているなど改めて実感しました。

吉田副委員長

ありがとうございます。ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは以上をもちましてプレゼンテーションを終了させていただきます。

特定非営利活動法人大垣市レクリエーション協会さん、ありがとうございました。結果につきましては、事務局から通知をさせていただきます。

それでは、「審議評価表」のご記入をお願いいたします。

※大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員：「審議評価表」記入

続きまして、資料No.8、国際音楽交流会Musica Con Tuttiさんの「おおがき国際音楽オンラインマスタークラス 声楽部門・器楽部門」事業です。国際音楽交流会Musica Con Tuttiさん、よろしくをお願いいたします。

※国際音楽交流会Musica Con Tutti：事業計画書に基づき発表

吉田副委員長

ありがとうございました。それでは、協働先の文化振興課より、意見をいただいておりますので、事務局より報告をお願いいたします。

後藤市民活動推進課主査

大垣市教育振興基本計画の文化振興分野では「文化の相互交流を通して、多様な文化芸術を理解する人づくりをめざします」を基本目標として、あらゆる世代の皆さんが「文化芸術等の交流機会の充実」に取り組むこととしています。

本事業は、世界で活躍する演奏家との国際的な交流の機会となるとともに、受講者以外にもレッスンの聴講により市民が音楽に触れることができる機会となります。

また、オンラインによる指導や聴講方法を取り入れており、事業展開の拡充・発展の可能性を感じることができます。

当事業の実施を通じて、地域の音楽レベルを高め、広く市民が音楽に親しむとともに、「音楽のまち大垣」を広く発信することができると期待しています。

吉田副委員長

ありがとうございました。それでは、こちらの事業内容につきまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。

新田委員

昨年度事業の事業報告の際には、報告書に記載いただいたのですが、昨年の受講希望者がどのくらいあったのか、事業計画書内へ参考に実績が載っていると分かりやすかったかと思います。実際にオンライン聴講を希望している方がどのくらいあったかが分かるかと思います。それから、今後は企業等への寄付金の募集活動に力を入れられるとのことで大変いいことだと思います。芸術活

動に賛同する企業も多いかと思しますので、どうぞ頑張ってください。

吉田副委員長

予算書に企業からの支援を5,000円予定しておられますが、今後は増やしていかれるという理解でよろしいでしょうか。

国際音楽交流会Musica Con Tutti

はい、そうです。昨年度、企業や音楽教室へ働きかけさせていただいたところ、いい事業なので寄付させていただきということで、1,000円から2,000円いただくことができ、発表会などで多く利用される美容室からも頂きました。企業から少しずついただけたので、今後も増やしていけたらと思っております。

市来委員

収支予算書の中で、広告宣伝について、Net宣伝広告費を上げていらっしゃいますが、よく知らないので教えてください。

国際音楽交流会Musica Con Tutti

InstagramやFacebookは、若い人たちがよく見てくださるので、若い方へも広めたいということで、効果的なSNSでの宣伝をします。Instagramでの宣伝は、告知したい広告については、見る方、見ない方があるかと思いますが、音楽、器楽、ピアノ、歌に関することに興味がある方へ告知のページをシェアするというものです。トータルで5,000人にシェアする場合、1ヵ月という期間でしたら、1日に約500円の契約になります。1日に宣伝する人数や、地域、年齢等の設定ができ、設定内容によって金額が変わってくるものです。

市来委員

宣伝広告を提供する会社は、岐阜県内にありますか。どこにありますか。

国際音楽交流会Musica Con Tutti

Instagram運営会社自身が行っているサービスです。

市来委員

分かりました。ありがとうございます。

宮上委員

楽器の選別は、どのようにされましたか。

国際音楽交流会Musica Con Tutti

昨年は、ハンガリーにあるリスト音楽院を通して講師を依頼しましたので、お願いできる講師の専門楽器を募集しました。応募者は、サクスが1人、バイオリンが1人、ピアノが3名の合計5名でした。海外との時差があり、レッスン時間が日本時間の17時から21時となりますので、枠としては器楽部門と声楽部門各5人を別日で実施し、大垣市在住の方等を優先して選考させていただきました。海外でもコロナと上手に付き合うようになってきて、こういう事業がどんどん行われるようになってきましたので、先生たちを確保するのが難しくなってしまうので、今年の器楽部門はピアノに限定し募集することしました。昨年問い合わせいただいた方で、今年も日にちが合えばぜひという方もいらっしゃいましたので、そういった方を中心に受講していただければと思っています。

吉田副委員長

ありがとうございました。ほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは以上をもちましてプレゼンテーションを終了させていただきます。国際音楽交流会Musica Con Tuttiさん、ありがとうございました。結果につきましては、事務局から通知をさせていただきます。

それでは、「審議評価表」のご記入をお願いいたします。

※大垣市まちづくり市民活動育成支援推進委員：「審議評価表」記入

以上をもちまして、「大垣市市民活動助成事業」に応募された団体からのプレゼンテーションを終わります。

それでは、この後、事務局の方で皆さまにお出しいただきました評価表をまとめさせていただきます。その間、少し休憩の時間とさせていただきます。皆さまお揃いになられましたら、総合評価審議を開催いたしますので、よろしくをお願いいたします。

11時30分 終了

以上、会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

副委員長 吉田茂樹

委員 宮上稔